News 3

大学・新座キャンパスが、「大学の桜の名所」東日本第1位に！

新座キャンパスの桜の並木道。50mにもおよぶ道の両脇を多く飾っているのはヤマザクラ。楚々とした美しさで春を楽しませてくれます。

一般公開期間中、来場者に配布された「構内サクラガイド」。新座キャンパスの桜の情報が掲載されています。

新聞に取り上げられ、テレビでも跡見の桜が紹介されたことから、今年の「桜まつり」は大盛況！　今年の来場者数は昨年を大幅に上回り、活気に包まれました。

新座キャンパス 構内サクラガイド

新座キャンパスの構内には計45種類約190本の桜がありますが、その一部をご紹介。

サトザクラ以外の栽培品種

ソメイヨシノやイトザクラなどが属し、早咲きや秋冬にも咲く二季咲きの桜も。

ソメイヨシノ
エドヒガンとオオシマザクラの間に生じたものといわれている。

イトザクラ
一般的に「しだれ桜」と呼ばれている。風になびく優美な桜。

カワヅザクラ
伊豆半島の河津町で発見された早咲き桜。早春を告げる品種。

サトザクラグループ

ソメイヨシノやヤマザクラなどの花が散る頃に見頃を迎える。八重桜の大半がこのグループに属する。

ベニナンデン
大阪造幣局など、限られた場所のみで見ることができる珍しい桜。

カンザン
花色が非常に濃く、サトザクラの代表品種。花は「桜湯」の材料に。

ウコン
黄色い花が特徴で、江戸時代以前から栽培されている。欧米でも人気の種類。

野生種

総称して「山桜」と呼ばれている桜。野生の桜ならではの、楚々とした美しさが特徴。

ヤマザクラ
古典文学に登場する、古来から親しまれている桜。

エドヒガン
長命な種として知られている。巨木な桜の大半がエドヒガン。

オオシマザクラ
白くて大きな花が特徴。桜餅の葉の材料としても有名。

新座キャンパスは、桜愛好家の必見の場所!? 歩きたい名所として1位に輝く

2016年2月27日（土）付けの日本経済新聞『NIKKEIプラス1』にて、「大学の『さくら咲く』名所 歩きたい」ランキングが発表され、本学新座キャンパスが、樹木医や写真家などから構成される選者から680ポイントを獲得し、ランキング東日本第1位に輝きました（ポイント数では、東西合わせても第1位です）。選者のコメントによると、「珍しいサトザクラもあり、桜愛好家は必見の場所」「品種により開花時期が異なるので、長期間楽しめそう」などというのが高評価の理由とのこと。

新座キャンパスの構内には、古来から日本に自生する野生種の桜（ヤマザクラやエドヒガン等）のほか、ソメイヨシノなどの花が散る頃に遅れて見頃を迎えるサトザクラなど、計45種類約190本（平成28年3月現在）の桜があります。多くは早春から晩春までに咲き、私たちの目を楽しませてくれますが、中にはフユザクラのように秋冬にも咲く二季咲きの桜も。

学園のシンボルでもあり、本学の学生たちを静かに見守ってきた跡見の桜は、大学創立50周年を迎えてさらに力強く咲き誇り、全国にその存在を印象付けたようです。

News 4

跡見ギャラリーにて「〈企画展〉アトミ・アート2016×中学校高等学校の繊維工芸作品展」を開催

跡見ギャラリーは、文京区と連携し、区民に開かれた教育複合施設として開所。1階はギャラリー、2階は心理教育相談所文京分室として利用されています。特に1階のギャラリーは、学生・生徒及び、文京区民の作品展等を開催。2016年6月25日までは、「〈企画展〉アトミ・アート2016×中学校高等学校の繊維工芸作品展」と題し、本年度で8回目を迎えた大学の「アトミ・アート展」と中高の繊維工芸部の作品展を同時に開催しました。

中学校高等学校の新校長でもあり画家でもある杉本昌裕文学部人文学科教授の作品のほか、繊維工芸部生徒によるクロステッチや絽刺し、文化刺繍、鎌倉彫り、木目込人形などを多数展示。中高と大学が連携し、新たな「伝統と革新」に挑戦した展示会となりました。

中学校高等学校の杉本昌裕新校長の作品。

中高の繊維工芸部生徒による、愛らしい木目込人形。

跡見ギャラリーでの展示の様子。展示には陶芸や鋳造、日本刺繍の作品も。